

● 6月26日(土) 快晴 十勝岳 吹上温泉「白銀荘」泊

・4時起床。空は晴天！ 食堂でサンドイッチとコーヒー、牛乳で朝食をとりトイレへ行ってから必要なものだけ持って望岳台めざして車を走らせた。まさに望岳台、青空の下、十勝連邦の峰々が眼前に展開している。

・5時に望岳台を2, 3パーティーと同時に出発、天気は快晴。木がほとんど生えていないまさに火山の十勝岳、火山礫の荒れた道を登ってゆくが、途中メアカンキンバイがあちこちに黄色い花を咲かせて疲れを癒してくれる。あんなに晴れていたのに登るに従って頂上付近に霧が湧いてきた。途中雪渓を渡ってくる風が冷たくて長袖を着こんだ。一昨年のはじめから霧の中を登ったが、今回は山頂付近だけ霧がかかって



メアカンキンバイが疲れを癒してくれる



山頂は霧に包まれ視界ゼロ

風が強くて寒いし、とにかく腹が減ったので岩陰に身をひそめてパンとおにぎりを食べながら休憩した。

・後ろの人が「昨日は9時頃から晴れたから今日ももうすぐ晴れると思う」と云っている。今年もだめだったかと、あきらめて下ろうかと思っていたが、その言葉を聞いてもうすこし山頂にいることにした。するとどうだろう！そのうちになんとなく風の動きが変わりはじめた。

風陰にいる私の顔に風が吹いてきた。

いて、登山ルートはよく見える。尾根に出たから広くて長い砂地の道を延々と歩く。昨日の夕張岳の疲れが左脚に残っていて最後の頂上への急坂がかなりきつく、喘ぎながらやっとのことで8時すぎに山頂に立った。山頂にはすでに大勢の人がいる。残念ながら霧に包まれ視界ゼロ、一昨年と変わらない。今朝あんなに晴れていたのになんてこった！



一瞬にして霧が晴れ快晴の山頂

目の前の尾根では右から湧き出している霧に、左からの風に乗ってきた霧がぶつかり喧嘩しているようだ。両方のきりが喧嘩して絡み合いながらどんどん上昇しだした、と思ったら瞬間に霧が晴れだして青空が顔を出し、9時前にはすっかり霧が無くなって快晴となった。夢を見ているような初めての経験だ！ 後ろの人の云う通り、昨日と同じく9時に霧が晴れた。北には美瑛岳・オプタテシケ山から



南には富良野岳への稜線が望まれた

トムラウシ山へと続く大雪山系への縦走路が望まれ、南には上ホロカメットク山から富良野岳が、目を転じれば遠く天塩岳も聳える、180度のすばらしい展望が開けた。興奮して写真を撮りまくった。一時は今年もダメかと諦めたがリベンジ大成功！なんという幸運だろうか。ありがとう！

・9時過ぎに下山開始、寒さにふるえた山頂がうそのよう、太陽が出れば暑い、おまけにあれだけ吹いていた風がぴたりと止んだ。汗をかきながらの下山、11時15分に望岳台に着いた。快晴の土曜日ということで望岳台は人でいっぱい、駐車場は空きスペースを探す車が右往左往している。トイレの水道で汗を流し、シャツを洗ったり乾かしたりしながら十勝連邦の眺めをゆっくりと楽しんだ。



駐車場は車でいっぱい。十勝連峰の眺めをゆっくり楽しんだ

・富良野の町へ買い物に下った。富良野の町は真夏の太陽が照りつけ灼熱地獄だ。今夜食の食料と明日の山の弁当など、セイコーマートとAコープで買い込み、これからの山に備えてドラッグに寄ってバンテリンを買った。2時過ぎに白銀荘へ戻りゆっくり温泉につかって疲れを取った。

・3時すぎから食堂に陣取りパソコンを開いてこれからの計画を立て直した。明日は上ホロカメットクに登り7月3日はトムラウシ山に決めてある、それまでどこに登ろうか。これからはばらばら天気はよさそうだし、明晩もここ白銀荘で泊る予定だ(3泊)。ビールを飲みながら計画をたて、4時前というのにいつしか夕食に入っていた。今夜の飯は豪華だ。

ギョーザと肉団子を肴にビール2缶を開け、メインはビーフカレーに丸ごとトマト、最後はコーヒーで閉めた。まだ早いせいか食堂は土曜日にしては4組しかいなくて静かだ。6時には食事もすんで部屋に戻った。さて寝るか、外はまだかなり明るい。明日も天気は良さそうだ。

● 6月27日(日) 快晴 上ホロカメットク山～富良野岳 「白銀荘」泊

・非常に面白い夢を見た。<テレビ局の突撃取材があり、無断で我が家に侵入してきた。私が激怒して「訴えてやる！」>なんてこんな夢を見たのだろうか？

・3時半に起床、外を見ると天気はまあまあだよ。洗面後サンドイッチと牛乳で朝食をとり、稜雲閣の駐車場へ向かった。今日は上ホロカメットク山に登る予定で来たが、日曜日で天気がいいためかすでに駐車場は満車状態。



駐車場は満車状態

なんと昨日望岳台の駐車場で私の横に止まっていた尾張小牧ナンバーの VOXCY のおじさんがいる！昨夜はこの駐車場で泊り今日は富良野岳へ登るといふ。おじさんに「お先に」と云って5時10分上ホロカメットク山に向けて登り始めた。



雪溪の上を歩き続ける

・まだかなりの雪が残っていて、富良野岳との分岐は雪の上、その先も雪溪の上を登り続ける。うしろから華奢なおばさんがスタスタ歩いてきてあっさりと抜かれてしまった。

昨日は芦別岳へ登ってきたという。なんというタフなおばさんだ、勝手に行け！マイペースで雪溪を詰めその先に急な長い階段が待っていた。3日続けての登山にはちょっときつい。階段を登りつめると尾根に出て展望が開けた。上ホロカメットク山の赤茶けて切り立った壁が足元に広がる。ここからの尾根道は花がいっぱいで楽しい登りだ。エゾノツガザクラ、キバナシャクナゲ、チングル



マなどが咲き乱れる。前富良野岳で私の前に出発した6人パーティーに追いついた。(この後このパーティーは私と同じコースをとり抜きつ抜かれつで歩いた。なかなか良いパーティーだった。)

・上ホロカメットク山まで20分弱、ここが今日の目的の山だが、山頂は何もなく面白くないところだ。写真を撮ってすぐに前富良野岳へ引き返した。今日の目的は終わった。

今8時、パンをかじりながら展望を楽しみ富良野岳へ続く稜線を眺めた。



上ホロカメットク山頂はなにもない



富良野岳への稜線は花がいっぱいで気持ちの良い尾根道だ

尾根道が気持ちよさそうに続きその先に富良野岳がでんと聳えている。地図を見ると富良野岳分岐まで2時間で行ける。体調も良いし天気も良い。時間も十分あるので富良野岳まで行くことに急ぎょ決定した。上ホロカメットク山から富良野岳への尾根道はすばらしい。

花が多いし展望も良いし非常に気持ちのいい道だ。三峰山近くではエゾコザクラが群生して咲き誇り見事、疲れが吹っ飛んだ。来てよかった。例の6人パーティーと抜きつ抜かれつ2時間弱で富良野岳分岐の広場へ到着した。今日は日曜日、広場には大勢の登山者が群れていた。外人の3人組がいる。この外人3人組と相前後しながら山頂を目指し、富良野岳山頂には40分弱で到着した。

山頂も大勢の登山客でいっぱい。



富良野岳山頂

天気は快晴、180度の展望を楽しんで20分くらい居た。

やはりこの山は花が豊富できれいだ。  
今年のエゾノハクサンイチゲとエゾコザクラのお花畑だった。前は7月でチシマフクロとリンドウのお花畑だったので趣が違ってすばらしかった。期待したエゾリソウはまだ早すぎるのか葉だけだった。7月の花なのか。

・6人パーティーは分岐で昼食をとっていたのでお先に下山した。ところが今度は例の外人3人組みと抜きつ抜かれつの道中となった。



昨日登った十勝岳方面

以前通った道なのでなんとなく覚えている。真夏の太陽にガンガン照らされ汗まみれ、携行してきた水は全て飲み干してしまった。何回か横切る雪渓で冷をとりながら13時すぎに無事稜雲閣の駐車場にたどりついた。尾張小牧のおじさんは、私と逆コースを歩いていて、上ホロカメットク山から富良野岳への尾根道ですれ違ったが、下山して登山者カードに記入していたら、また一緒になった。おじさんは稜雲閣の風呂へ入るといって別れた。

・わたしは今夜も白銀荘泊り、のんびりと温泉に入って今日の疲れを癒し、3時頃から食堂で飲み始めた。パソコンで計画を練り日記を書きながら夕食が始まり、ひじきの煮物、肉団子でビールが3缶も空いた。主食は玉ねぎ入りの味噌らーめん、野菜はトマト丸かじり、食堂のガスを使ったら50円取られた。まだ5時半、コーヒーを飲みながら外を見る。一時十勝岳に雲がかかったが今はまた晴れて山々がすっきりと見えている。

・明日はどうか。天気は良さそうだが3日連続で登ったので明日はお休みしたい。

富良野や美瑛でも周ろうか、などと思いめぐらしながら眠りについた。